

空き家活用の新たな仕組みづくり



地域の課題を解決する空き家マップを作ろう

2026年6月20日

提案者：RINOVA！ 杉山遥

RENOVA!(リノバ)は、デザイン・まちづくり・建築といった多領域の学生が専門の垣根を越えて協働する、インカレ型の学生団体です。

異なる学科の学生が交流し、主体的に取り込む楽しさを原点に、地域・会社に貢献する活動を行っています。



まちづくり、デザイン、建築といった
異分野の学生の合流と活動による価値創造

地理的課題と活動継続の難しさ



実務的な経験や知識の拡充



異分野の学生の合流と価値創造



活動の様子



学生主体の イベント・勉強会活動

「キャリア座談会」や「放課後勉強会」、一人では学習が難しい「BIM勉強会」などを企画し実行しています。



企業様との連携 プロジェクトの活動

橋建設様・SWAYデザイン様といった県内外の民間事業者の皆様とのプロジェクトが進行しています。



地域・行政主体 プロジェクトへの参画

金沢市の「未来へ繋ぐ金沢行動会議」にて、ナイトストップ（夜の居場所作り）に参画しました。

いろいろ地域に根差して活動して気がつきました

空き家MAPって僕らが作らんといけん

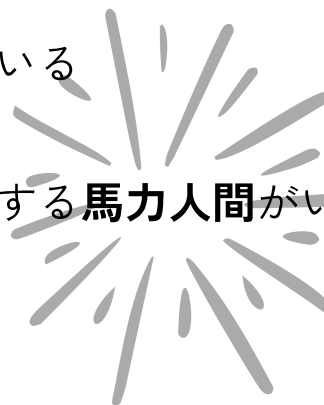
空き家バンクという空き家専用不動産サイトはあるが**登録の機会が限られている**

地域にどれくらいの空き家が存在しているのか**情報公開できていない**

空き家利用を検討している事業者も**誰の持ち主の空き家か分からない。**

管理されていない空き家が**町並みを損害**している

お金にならない大変な、空き家マッピングをする**馬力人間**がいない



何より空き家MAPは様々なステークホルダーを結びつける ラストワンマイルだと考える

空き家誰か使って
くれんかな？



商店街の空き家
誰か持ってるん
だろう？

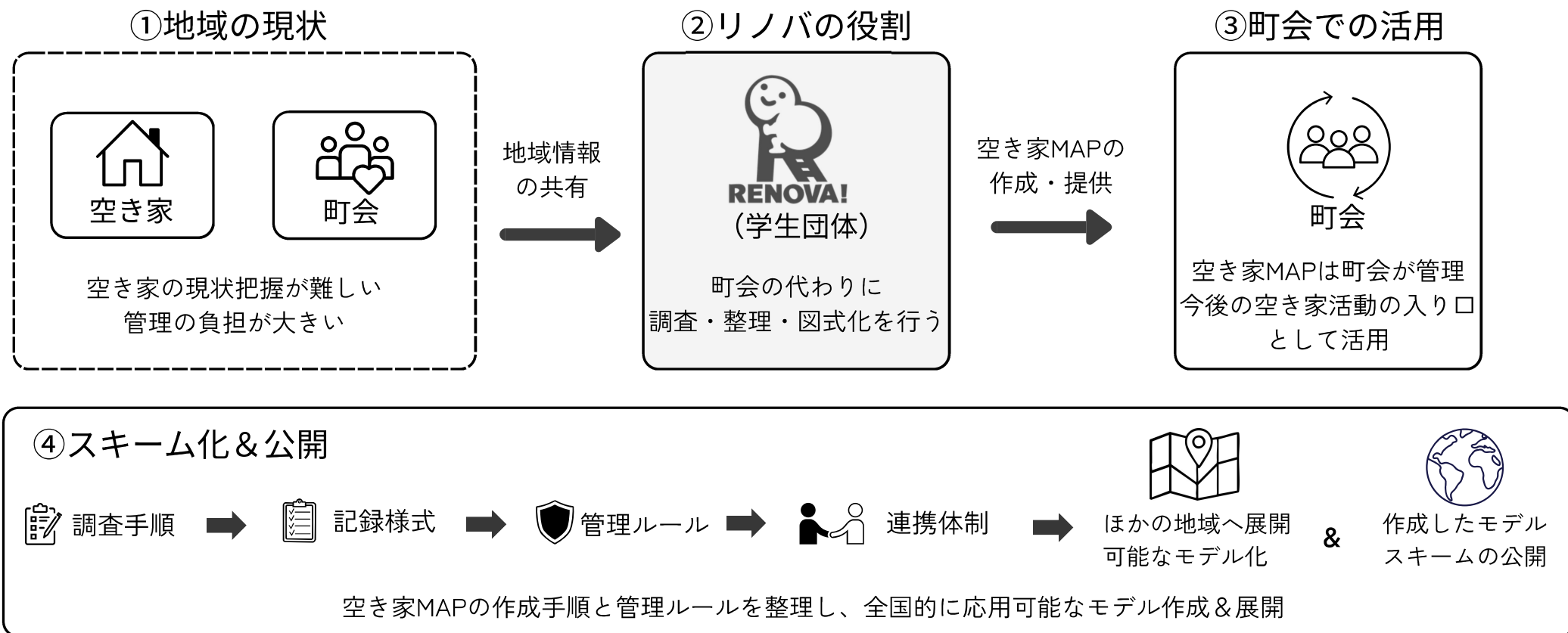


空き家の管理、
大変じゃわい



リノベ経験したーい





 空き家MAPを作って終わりではなく、町会へと引き渡す&全国的に応用可能なモデル化&展開まで。

事業計画

01

町内会にコンタクトをとる

02

交流会を行い合意形成を行う

03

地域の人と町散策

04

リノバで空き家をマッピング

05

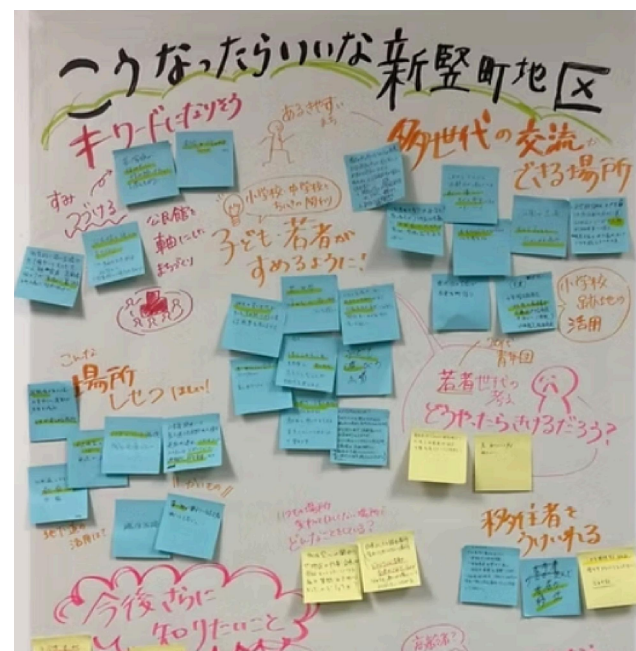
空き家マップの引き渡し

06

空き家マップモデル化&公開



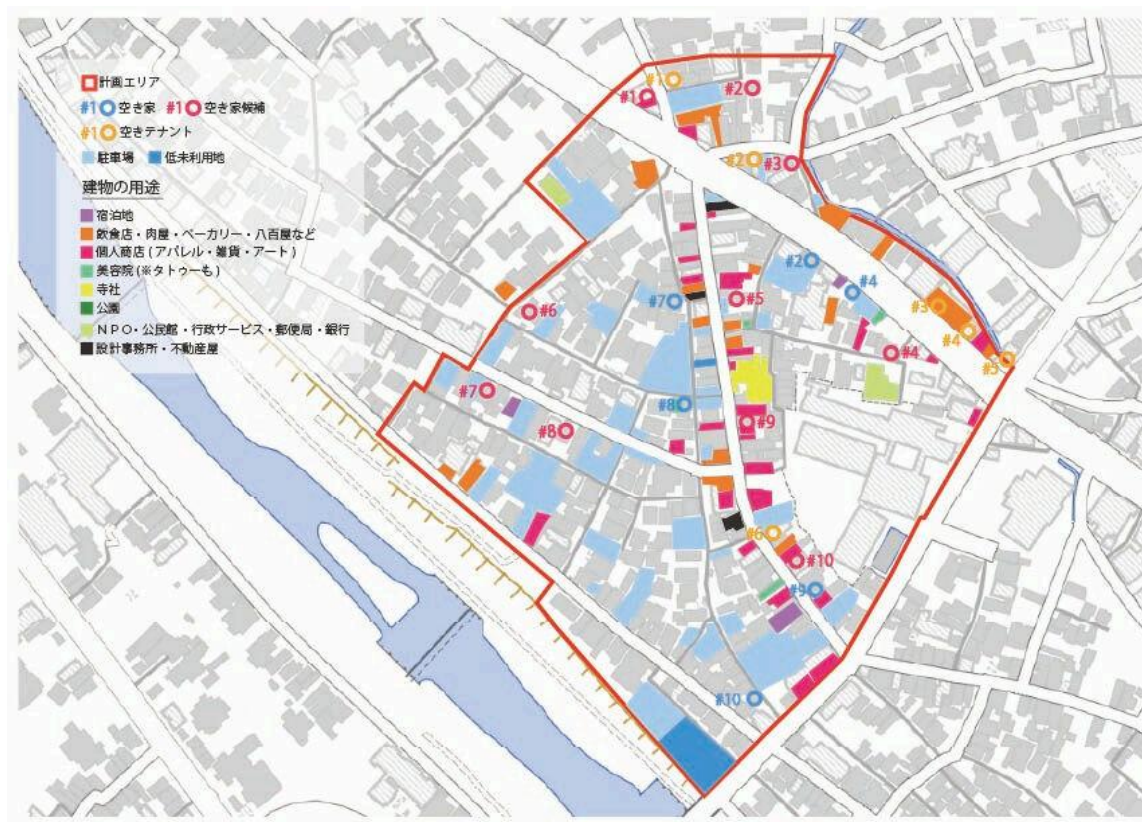
地域のフィールドワークの様子



ニーズマッピングの様子

出典：丸山研究室「ワークショップ」

(<https://marulabku.wixsite.com/mysite1/%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%83%E3%83%97>)



2024年8月作成のエリアマップ(リノバOB 笠原 製作)

事業収支計画

事業収支計画



科目	金額	内訳
使用料及び賃貸料	9,190	金沢未来のまち創造館使用料
交通費	8,000	事業実施にかかる交通費 大学生1人：1,000円
材料費	18,000円	空き家MAP作成用の大型地図下地、スチレンボード、透明シート、地図保管ファイル、 掲示用パネル
消耗品費	25,810円	付箋、マーカー、テープ、名札、名刺カード、クリップボード、ペン、 ウェットティッシュ、参加者用飲料・軽食、振り返り用紙
通信・連絡費	5,000円	町会・関係者への資料送付、案内文送付、連絡用印刷物の郵送
予備費	5,000円	追加印刷、急な備品不足、雨天時の現地調査対応
計	100,000	

やること



事業効果

地域にどれくらい空き家があるのか、どこにあるのかを地図上で整理できる

町会だけでは難しい調査・整理作業を、学生団体が担える

町会、学生、行政、事業者が同じ地図を見ながら合意形成できる

管理されていない空き家の把握により、放置状態への対応がしやすくなる

建築・まちづくりを机上ではなく、地域の現場で学べる

———— [THANK YOU!] ————

ありがとうございました!

—————